

JTBとの戦略的パートナーシップによる宿泊増売と会員経営基盤の強化
～四方よし（お客様・JTB・旅ホ連会員・地域）の精神で、地域の持続的な発展を成し遂げる～

JTB 旅ホ連 ニュース



「やどこむ」からも
ご覧いただけます

1 JTB RYOHOREN NEWS
JANUARY
2025 No.733

謹賀新年



- P2 JTB旅ホ連 副会長による「今年の言葉」
- P4 **新春対談**
JTB山北社長と旅ホ連宮崎会長に聞く「2025年の展望」
人、地域、DXと共に創る新時代の持続可能な観光への挑戦
- P9 #インバウンド 取組事例紹介
第2回 大川荘（福島県 芦ノ牧温泉）
- P10 輝くキーパーソン！
- P11 経営基盤強化のカギ
第19回 ホテルパームロイヤルNAHA 国際通り（沖縄県 那覇）
- P12 ツーリズム産業におけるSDGsの取り組み
第10回 株式会社かりゆし（沖縄県 恩納村）
- P13 法律相談ホットライン
第36回 「静かなるクレーマー」への対処
- P14 世界をつなぐおもてなし
- P15 「教えて！JTB」
第34回 JTBビジネスソリューション事業本部
- P16 Win & Win
支部活動トピックス 島根支部
from 宿屋大学 宿泊業界、人材不足解消の処方箋 第2回
- P18 旅館・ホテル探訪 第267回 游泉志だて
森と溪流と湯で安らく大人のリゾート旅館
- P20 地域の魅力を創る！ 第113回 北海道 阿寒湖畔
北海道のアイヌ文化を世界に発信 阿寒湖カムイルミナ
- P22 JTB旅連事業 最新情報&トピックス
- P23 私のとっておき～ My Special～
（一社）旅館経営人財育成アカデミーのご案内

写真：游泉志だて
「旅館・ホテル探訪」取材施設

 JTB協定旅館ホテル連盟



株式会社かりゆし

(沖縄県 恩納村)

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパをはじめ、沖縄でホテルの運営を行っている株式会社かりゆし。SDGsの目標達成のための様々な活動の一部を代表取締役社長 玉城智司さんに、ご紹介いただいた。

サンゴ再生プロジェクト

沖縄の魅力の一つである青く澄んだ海には、世界に生息するサンゴ種の半数以上が棲んでいると言われております。この美しいサンゴに異変が起こり始めたのは1998年。グレートバリアリーフから始まった大規模な白化現象が沖縄全域でも見られるようになりました。白化現象とはサンゴに共生する褐虫藻が海水温の上昇により失われ、サンゴが白い骨格だけ透けて見える現象のことです、その状態が続くとサンゴが死滅し、



かりゆしサンゴパークでサンゴの保全を学ぶ



玉城智司さん

そんな矢先、沖縄近海での台風発生が少なく、海水温の上昇により現在、沖縄の大切な宝が失われかけていることを危惧しております。回復にはかなりの時間を要します

海の生態系を壊してしまいう危険性があります。2008年に国際的プロジェクト「国際サンゴ礁年」が立ち

上がり、弊社も賛同し、ホテルビーチで「サンゴ再生プロジェクト」をスタートさせました。開始当初は植え付けたサンゴ苗の生存率が低かったものの、最適な場所の選定、赤土やごみの除去、ステイックタイプの苗への変更や、恩納村漁業協同組合との連携による苗の選別により、2015年以降からサンゴの産卵が確認できるようになりました。16年間の活動で1万株余りのサンゴ苗を植え付けし、再生に取り組んで参りましたが、もっと多くの人にサンゴの保全に参加してもらいたいと、沖縄科学技術大学院大学、恩納村漁業協同組合、恩納村観光協会、弊社の産学官協働で2024年4月、サンゴの保全・育成・学びの体験施設「かりゆしサンゴパーク」をオープンしました。

が、この施設でたくさんの皆様に、体験を通して少しでも環境問題について考えていただければと願っております。今後もサンゴの再生に向けて産学官で連携し、皆様のお力添えをいただきながら美しいサンゴの森再生に向けて一歩一歩地道に活動を続けてまいります。

「かりゆしの森」を体感

沖縄には海だけではない豊かな自然があります。恩納村の沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパにある8万坪の敷地内では緑豊かな自然を体験できます。色鮮やかな木々に草花、鳥や虫など珍しい生き物たち。そんなたくさん命が暮らす「かりゆしの森」を専門のスタッフのガイドでゆつくり散策するツアー「ミニトレッキング」はお客様からご好評いただいております。

社員からの提案もあり、この豊かな自然を体感してほしいと、地域貢献活動の一環として地元の幼稚園児や小学生の招待も行ってまいります。笹船をつくって川に流したり、不思議な植物を触ってみたりと興味津々に自然に触れ喜んでいる子どもたちを見ていると嬉しく思います。「かりゆしの森」を通して沖縄の自然に触れることで地域を知り、学ぶ機会を得る一助となればと思っております。

環境への負荷削減の取り組み

弊社はホテル業として「環境配慮型リゾートホテル」を目指し、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、総排

水量の削減及び生ゴミのリサイクル等に取り組んでおります。

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパでは開業当初より自家発電機を設置し、ホテルで使用する電気の約6割を自家発電機で担い、省エネ及び二酸化炭素排出削減に貢献してきましたが、更なる環境への配慮を考え、県内のリゾートホテル初となる横置LNG（液化天然ガス）サテライトとガスコージェネを導入しました。LNGは石油系燃料より燃焼時の二酸化炭素排出量が少ないクリーンなエネルギーです。大気汚染の原因となる窒素酸化物の発生は極めて少なく、硫黄酸化物は一切排出しないことから、燃焼機器の効率向上や煙突などの腐食を抑制し、補修費用の低減が見込まれます。LNGを使った発電・廃熱利用システムの導入により、ガスボイラーの燃料費の削減にもつながっております。

また、専属農園「かりゆしファーム」では、人体と環境にやさしい無農薬栽培を行い、ホテル厨房にいつでも新鮮な野菜を届けています。地元の農家さんからも新鮮・安全な野菜を仕入れており、農園で採れた新鮮な野菜や地元農家さんに大事に育てられた野菜は、かりゆしホテルズ内レストランでお客様に提供して、地産地消にも取り組んでおります。今後とも微力ながら事業活動を通して、持続可能な社会の実現に向け貢献できるよう努めてまいります。

